

## 安全運転訓練車の導入と 高速3列シート車両（阿南大阪線）を含むバスの新造について

徳島バスでは、このたび、運転者への安全運転指導に特化した訓練車を導入するとともに、高速バス、貸切バス、一般路線バスにそれぞれ新造車両を配備いたします。あらたに導入する車両とともに、より安全安心・快適なバス運行に取り組んでまいります。

### 1. 安全運転訓練車

安全運転訓練車は、運転者の視線の動きや運転の癖を計測・記録できる機器を備えた、訓練専用のバス車両です。訓練車を使った運転指導を通し、ひとりひとりの運転者の特性に応じた効果的な指導を行うことで、事故防止・運転技能向上を図ってまいります。また、燃料消費量を目で見えて確認できる装置も備え、エコ運転による環境対策にも取り組んでまいります。

運用開始：2020年10月

車両形式：一般路線バス（中型・日野自動車製）

主な設備：視点計測装置（運転時の目と頭の動きを計測）

運転データ計測装置（運転中の車体の揺れ、アクセル・クラッチの操作を記録）

燃料消費量計測器（アイドリング時や走行時の燃料消費量を可視化）

安全確認装置（車内と車体周辺にサインを出し、運転者の目視確認実施を確認）

※各設備の詳細は別紙をご参照ください。



## 2. 新造バス

より安全で快適なバス輸送を提供するため、高速バス・貸切バス・一般路線バスにそれぞれ以下の通り新造車両を導入いたします。

高速バスについては、ゆっくりとお寛ぎいただける3列独立シートを採用するとともに、無料Wi-Fi、全席100Vコンセント、プラズマクラスターを完備しており、長距離でご利用のお客さまの多い阿南大阪線で運行する予定です。

貸切バスについては、無料Wi-Fi、全席100Vコンセント、プラズマクラスター等の充実した装備と清潔な空間で楽しい旅の時間をお過ごしいただけます。

路線バスについては、お客さまの乗降を容易にする車高調整装置をはじめ、車椅子・ベビーカー対応のバリアフリー仕様により、幅広い層のお客さまに安心してご利用いただけます。

また、安全装備としては、すべての新造車両にドライバー異常時対応システムを備えるほか、高速・貸切バスには、3点式シートベルト、衝突被害軽減ブレーキ、車線逸脱警報装置を搭載しており、さらに安全・安心なバス輸送を提供してまいります。

### 新造車両の概要

	高速バス	貸切バス	一般路線バス
車両数	3両 (阿南大阪線で運行予定)	大型1両／中型2両	12両
運行開始	2021年3月	2020年9月29日	2020年10月
主な仕様	<ul style="list-style-type: none"><li>・3列独立シート</li><li>・3点式シートベルト</li><li>・無料Wi-Fi</li><li>・全席コンセント</li><li>・プラズマクラスター</li><li>・衝突被害軽減ブレーキ</li><li>・車線逸脱警報装置</li><li>・ドライバー異常時対応システム</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・1列サロンシート(中型のみ)</li><li>・3点式シートベルト</li><li>・無料Wi-Fi</li><li>・全席コンセント</li><li>・プラズマクラスター</li><li>・地上デジタル放送</li><li>・DVD、カラオケ</li><li>・衝突被害軽減ブレーキ</li><li>・車線逸脱警報装置</li><li>・ドライバー異常時対応システム</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ノンステップ</li><li>・バリアフリー(車椅子、ベビーカー対応)</li><li>・車高調整装置</li><li>・ドライバー異常時対応システム</li></ul>



3列シート車内

(写真は東京線で運行中の既存車両のため、今回新造の車両とは、仕様が一部異なります)

本件に関するお問い合わせ先

(訓練車のご見学・ご視察、新造車両の詳細等を含む)

徳島バス株式会社 088-622-1814 (総務部・長井)

以上

# 安全運転訓練車仕様について

## (1) 視点計測装置(アイマークレコーダー)



運転者の目と頭の動きを計測して振り返り時の指導に活用する。なお、運転データ計測装置へデータ連動させることで体系的な分析・把握が可能。

## (2) 運転データ計測装置(ヤザキ製教習ソフト)



加速度センサーによって左右及び前後の動揺を計測し、数値をグラフ化することによって、運転の癖(ハンドルの切り方等)を見極める。 ※速度、エンジン回転、ブレーキ、左右ウinkerの信号抽出が可能。アクセルのON・OFF、クラッチの踏む癖等は足元カメラにて確認する。

### (3) 燃料消費量計測器(アナログ式)



アイドリング時と走行時の燃料消費量を視覚化できる。

運転技術の向上と省燃費走行は比例していることを

体感し、エコ運転の必要性について理解を深める。

### (4) 安全確認装置



停車からの再発進時にフロントバンパー部、及び室内の確認装置を教官席からランダムに可動させ運転者からの応答によって判断する。また、右左折時も同様に左右の確認ランプを点灯させ、内側への巻き込みと外側のオーバーハングによる振り出しを確認しているか判断する。